

WVOB 会（1期～4期）報告： 2023「白山市大会」と、これまでの歩み

4期佐藤秀紀（3期西尾皓史）

はじめに

この報告文は2部からなっており、1部ではこの会の今年2023年の例会報告（佐藤秀紀（4期）記）、2部ではこの会のこれまでの歩みについての報告（西尾皓史（3期）記より）、となっており、佐藤がまとめて投稿したものである。

この会は今から65年前（昭和33年（1958年）1期～3期OBで始まり、その後4期が加わった。また、特別ゲストとして7期の村田さんが加わっている（詳細は第2部「これまでの歩み」参照）。

第1部 2023「白山市大会」報告

今年の年の初め、これまでこのOB会の事務局兼総監督をやっておられた西尾さん（3期、小松市在住）より、コロナ禍もあり活動を休んでいたOB会の今年の例会を、ご本人の体調不良もあり、私に実施してほしい旨のメールが届いた。この年齢（3～4期で82～84歳）では、これまでのような旅行形式ではなく、一晩ゆっくり顔を合わせて懇親を深めることを目的とした形式で進めることで了解を得て、1泊2日の企画を進めた。以下、経過を報告する。

<プロローグ>

6月末に、9月末日に開催の全体OB会「65周年大会」の翌日に「白山市大会」開催を連絡し、7月末で12名（全会員19名）の参加返事を受けた。その後、諸般の事情で3名が参加できなくなり結局9名での参加となった。北、北野、佐々木、朝井、佐藤、清水、高田、高野、橋本であり、3期3人、4期6人である。

（日程）

1日目：

13:30 金沢駅改札口集合→3台の自家用車に分乗して白山比咩神社へ。

14:20 表参道から白山比咩神社参拝。

15:30 白山比咩神社出発

16:00 「白山里」（白山市瀬波 51-5）着（宿泊）

2日目：

9:30 宿出発（車3台）

10:00 獅子吼高原ゴンドラ乗り場→ゴンドラにて獅子吼高原へ。散策。

11:30 ゴンドラ駅出発

12:30 金沢駅着：解散

<1日目：10月1日（日）>

13:30 に金沢駅改札口に集合（北氏は現地で合流）。地元会員3名の車に分乗し、鶴来の白山比咩神社に向かう。神社の表参道から参拝の予定で下の駐車場に向かったが、当日は「一日参り」があり、多くの車で駐車場が混雑。そのような風習があることに気づかぬ不信仰者であるので、改めて当神社の存在と信仰者の多さに驚かされた。なんとか表参道からの参拝で荘厳な杉の巨木の石段参道を上がり、多くの参拝者に交わって参拝し、記念写真を撮った。

社殿右側には「白山遥拝所」があり、白山に登られない人も、その霊験を授かるとされた。白山比咩神社は現在は白山をご神体とする白山信仰の総本宮として全国の白山神社3千余を束ねる。



白山比咩神社前にて(2023.10.1)

その後、宿泊施設の「白山里」へ向かう。ここは鶴来から白峰へ向かう国道157号線を吉野谷に入ってすぐにある、瀬波川沿いの静かな山間の一軒温泉宿泊施設である。

前回の2019年「東京大会」以来、コロナもあって4年ぶりの例会である。懇親会の前に長く会員であった物故者へ黙祷を捧げた。近年では、岩井、登内、鈴木、田村の3期諸氏。次いで、各自近況を交えて一人ずつ話してもらった。いまだに

現役で仕事をしている者、体は衰えてきているが趣味を楽しんでいる者、足腰が弱ってきて日常が厳しい者などなど。四方山の話で盛り上がった。

食後席を幹事部屋に移して、今後のこの会の運営について話し合った。皆さん一様に、会・行事の存続を望み、案内があればできる限り参加したい。ただし、幹事役の苦労も考慮して一泊で泊まることを主体にした会合にしてはどうか、などの意見が多数を占めた。さしあたり来年も開催することになった。元気であれば、佐藤がお世話をしてもよい、と申し出た。

<2日目：10月2日（月）>

早朝散歩に出た。この近くには鉢伏山、笈山、恐山（オンソリヤマ）などの低山登山口があり、近辺随一のカタクリ群落もあって、春のシーズンには人気がある。

朝風呂に入りゆっくり朝食をとって9:30頃に車3台で宿を出る。

10時頃に獅子吼高原ゴンドラ下駐車場に着き、ゴンドラに乗る。ここで思いがけなく、7期のメンバー村田泰恵さんがおられ、合流された。ゴンドラで標高差450mほどを一気に上がると、獅子吼高原が広がり、展望所からは眼下に手取川を含む扇状地が日本海まで広がっているのが見渡せて素晴らしい景観である。今年2023年5月に、これらを含む白山市一帯が「白山手取川ジオパーク」として、日本で10番目の世界ジオパークにユネスコで認定された。ジオパークとは大地の遺産の保護と活用を目的とした自然公園である。

ここ獅子吼高原はまたハンググライダーやパラグライダーなどのスカイスポーツの拠点としても環境条件が良く有名である。

しばらく自由散策をしたのち、再びゴンドラで降りた。当初は金沢駅で解散としていたが、駅は混雑しており駐車のこともあるので、最近金沢で人気の「石川県立図書館」（旧工学部跡）まで行くことにし、村田さんとはここで別れた。山側環状道路から小立野台地に上がる新設道路を通過して図書館前に入り、同所に最近移転した市立美術工芸大学も含めてユニークな外観を眺め、来年の元気な再会を約して一応解散とした。金沢駅へ行く者は再度車で駅へ向かった。

<エピローグ>

今回はこれまでほとんどすべての大会に参加

され総監督をされてきた西尾さんが体調不良の為おられないのは大変淋しかった。また、ここ数年で3期の親しく長く参加されておられた、登内、鈴木、田村の諸先輩が鬼籍に入られたことは何とも寂しい限りである。しかし、今回久しぶりに集まった諸氏が、この会の存続と参加を切望されたことは大変喜ばしい限りである。今回都合で参加できなかった諸氏も含めて、来年の例会も是非実現して元気な顔を合わせたいものである。会員諸氏のご健勝ご多幸を切に祈る。

第2部 WVOB会（1期～4期）のこれまでの歩み

（以下は2023「白山市大会」参加者に向けて、欠席された、これまでの総監督：西尾皓史氏（3期）が寄せられたメッセージと記録である）

今から遡ること65年前、昭和33年（1958年）5月24日（たしか土曜日だったと思うが）午後1時30分～、金沢城の跡にあった金沢大学教養部の「尾山食堂」2階で、第一回会合が開催されました。

発起人は、田村昭夫、鈴木兵一、会津若松出身の二人の雄士で、これが金沢大学ワンダーフォーゲルクラブのスタートであった。

4年間の現役時代のワンダーフォーゲル活動は実に多彩で華やかで、辛いこともあったが、いろいろと素晴らしい思い出を作ってくれました。

例えば、食当（食事当番）で雨の中での飯盒炊飯、暑い真夏の太陽を浴びながらの急な登り、或いは、雨の中ガスで一寸先も見えない中の強行軍、いろいろ辛かったはずの体験が、今思い出すと大変懐かしい。

クラブ活動の現役の4年間はアツと言う間に過ぎ去り、卒業後、“渡り鳥”達はそれぞれの社会分野で活躍し躍動を続けてきておりお互いの交流も途絶えがちになっていました。そして40年程の歳月が過ぎ、そろそろ定年を迎え始めた1998年に、金沢大学ワンダーフォーゲルクラブOB会の「創部40周年記念大会」が医王山で開催されました。

その時、第3期から、田村、鈴木、北、西尾の4名が参加しましたが、「40周年記念大会」終了解散後、4人で一泊和倉温泉に行こうということになりましたが、出発の時に、田村さんの姿は消

えてしまつて見つからない。やむを得ず田村さんを残して、我々3人で和倉温泉へ出かけ、夕食を摂り乍らいろいろと話し合いした中で、「同期のWVOB会を作ろうよ。」ということで衆議一決し、それならば女性軍の協力も是非必要だということで、早速、金沢在住の北野倫子さん、安藤道子さんに電話して快諾を取り付けました。

そして翌年、1999年5月に第一回大会「医王山・白峰大会」を開催することになり、以来今日までの24年間にわたり、32回もの多くの大会を開催することができました。

これだけ多くの大会を継続して開催することができたのは、メンバー全員の力であったのは当然ながら、特に、それぞれの大会を企画・立案し、実施にこぎつけた、佐藤さん、森島さん、清水さん、高田さん、北さんらの努力が実を結んだお蔭であったと思います。

今回の「白山市大会」には、私自身体調不良のため参加できないのは断腸の思いですが、参加される各メンバーが楽しく愉快に盛大な交流になることを心から祈念しております。

金沢大学WVOB大会(1期～4期)のあゆみ

回	平成(年)	西暦(年)	月	日	行 先	担当
第1回	平成11年	1999	5	8～9	医王山・白峰	西尾
第2回	平成12年	2000	9	9～11	立山・能登	西尾
第3回	平成13年	2001	8	25～26	山の坊	西尾・登内
第4回	平成14年	2002	5	18～20	会津若松	鈴木・田村
第5回	平成15年	2003	5	22～24	平湯・新穂高	西尾
第6回	〃	2003	9	14～15	内灘	西尾
第7回	平成16年	2004	5	14～16	越前海岸・永平寺	西尾・佐々木・朝井
第8回	平成17年	2005	5	13～15	琵琶湖一周	西尾
第9回	平成18年	2006	5	19～21	伊那路	登内
第10回	平成19年	2007	5	18～20	名古屋・犬山	森島
第11回	平成20年	2008	5	16～18	姫路・赤穂	下出
第12回	〃	2008	9	15～16	湯涌温泉	佐藤
第13回	平成21年	2009	8	27～29	立山・黒部アルペンルート	登内・西尾
第14回	〃	2009	11	13～19	タイ・バンコック	北
第15回	平成22年	2010	5	13～15	浜松	清水
第16回	〃	2010	10	13～15	山口・萩・津和野	岩井
第17回	平成23年	2011	5	16～18	房総半島	鈴木
第18回	〃	2011	10	17～20	北九州	高田・石橋・大崎
第19回	平成24年	2012	5	29～31	新潟上越・佐渡ヶ島	森島
第20回	〃	2012	9	4～5	八方尾根・桐池高原	橋本・佐藤
第21回	平成25年	2013	9	23～24	白山麓・福井	佐藤・村田
第22回	平成26年	2014	5	28～30	湯の山温泉・伊勢神宮	森島
第23回	〃	2014	10・11	30～1	鎌倉・城ヶ島	清水
第24回	平成27年	2015	5	27～29	倉敷・金毘羅	岩井
第25回	〃	2015	10	5～7	角館・秋田駒・乳頭温泉	佐藤
第26回	平成28年	2016	5～6	30～1	富士山麓周遊	清水
第27回	〃	2016	10	11～13	能登	佐藤
第28回	平成29年	2017	6～7	29～1	広島・宮島	北野
第29回	平成30年	2018	5	24～26	木曽路	森島
第30回	平成30年	2018	9	16～17	南加賀周遊	西尾
第31回	平成31年	2019	5	19～21	東京	清水
	延期・保留				黒部峡谷・氷見	西尾
第32回	令和5年	2023	10	1～2	白山市大会	佐藤